

## 平成28年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	研究ゼミナールB (Seminar of Study B)		授業コード	L120564
担当教員名	廣田 篤彦		科目ナンバリングコード	L31205
配当学年	3	開講期	後期	
必修・選択区分	建築コース(選択) インテリアデザインコース(選択) 環境地域創生コース(選択)	単位数	2	
履修上の注意または履修条件	指導教員の指示にしたがってください。			
受講心得	何を自分の職務とするか、自身の人生の目標を見定めながら研究室を選択し、それぞれの課題に取り組んでください。			
教科書	随時、参考書籍を紹介します。			
参考文献及び指定図書	指導教員の指示にしたがってください。			
関連科目	それぞれの専門分野に関連する全科目			

授業の目的	<p>半年間の研究ゼミナール1を終えた後、同じテーマをさらに追求したい場合は、引き続き同じ研究室で指導を受けます。興味や目標が変化した場合は、他の研究室で指導を受けることもできます。</p> <p>研究ゼミナール1と同様に、上級生である卒業研究生や大学院生らと協力して、例えば、3次元CADソフトを利用して設計コンペの作品作成に参加したり、文献研究で理解した事柄の具体的な問題演習などに取り組めます。内容は、研究ゼミナール1と比べて高度となります。</p> <p>一般的に、ある分野について専門的に学ぶためには、その分野の専門家に接し、自ら専門分野について日常的に取り組むことが大事です。また、3年生の後期という時期は、それまでの努力が実力となって、成果に現れてくる頃でもあります。したがって、研究ゼミナールBは、これまでに増して自主的に参加することが大切です。</p>
授業の概要	中判田駅周辺開発プロジェクト

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
<b>第1週：課題発表会</b> 磯崎新の見学レポートをパワーポイントを使って発表	発表資料の作成
<b>第2週：課外学習(1)</b> 中判田駅周辺開発プロジェクト 現地視察	視察の準備、課題の整理
<b>第3週：中判田駅周辺開発プロジェクト グループワーク(1)</b> 課題の整理と資料作成	課題の整理、資料の作成
<b>第4週：課外学習(2)</b> 中判田駅周辺開発プロジェクト 第2回検討委員会	課題の整理、資料の作成
<b>第5週：中判田駅周辺開発プロジェクト グループワーク(2)</b> 課題の整理と資料作成	課題の整理、資料の作成
<b>第6週：中判田駅周辺開発プロジェクト グループワーク(3)</b>	

課題の整理と資料作成	課題の整理、資料の作成
<b>第7週：課外学習(3)</b> 現地調査(1)	課題の整理、資料の作成
<b>第8週：中半田駅周辺開発プロジェクト グループワーク(4)</b> 課題の整理と資料作成	課題の整理、資料の作成
<b>第9週：課外学習(4)</b> 中半田駅周辺開発プロジェクト 第3回検討委員会	課題の整理、資料の作成
<b>第10週：中半田駅周辺開発プロジェクト グループワーク(5)</b> 課題の整理と資料作成	課題の整理、資料の作成
<b>第11週：中半田駅周辺開発プロジェクト グループワーク(6)</b> 課題の整理と資料作成	課題の整理、資料の作成
<b>第12週：課外学習(5)</b> 現地調査(2)	課題の整理、資料の作成
<b>第13週：中半田駅周辺開発プロジェクト グループワーク(7)</b> 課題の整理と資料作成	課題の整理、資料の作成
<b>第14週：課外学習(6)</b> 中半田駅周辺開発プロジェクト 第4回検討委員会	課題の整理、資料の作成
<b>第15週：中半田駅周辺開発プロジェクト グループワーク(8)</b> 中間報告書の作成	課題の整理、資料の作成
<b>第16週：</b>	
<b>授業の運営方法</b>	(1)授業の形式 「演習等形式」
	(2)複数担当の場合の方式
	(3)アクティブ・ラーニング 「アクティブ・ラーニング科目」
<b>地域志向科目</b>	カテゴリー III：地域における課題解決に必要な知識を修得する科目
<b>備考</b>	

○単位を修得するために達成すべき到達目標

<b>【関心・意欲・態度】</b>	①将来の進路を考える ②就職ナビにエントリーし、会社説明会・面接のスケジュールを立てる。
<b>【知識・理解】</b>	
<b>【技能・表現・コミュニケーション】</b>	Arc GISを習得し、地理情報システムの活用例を理解する。
<b>【思考・判断・創造】</b>	卒業研究のテーマを見つけ、準備をする。

○成績評価基準(合計100点)			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等 (テスト)	レポート・作品等 (提出物)	発表・その他 (無形成果)	
<b>【関心・意欲・態度】</b> ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。			<b>15点</b>	
<b>【知識・理解】</b> ※「専門能力(知識の獲得)」を含む。				
<b>【技能・表現・コミュニケーション】</b> ※「専門能力(知識の活用)」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。		<b>70点</b>		
<b>【思考・判断・創造】</b> ※「考え抜く力」を含む。		<b>15点</b>		
<b>(「人間力」について)</b>				
※以上の観点到、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。				

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等 (提出物)	
発表・その他 (無形成果)	